

## 会議録

|        |  |
|--------|--|
| ■ 議事内容 | 2025年度10月定例教育委員会   |
| ■ 日 時  | 令和7年10月24日（金）13：30～16：00   |
| ■ 場 所  | 4階会議室4-1   |
| ■ 出席者  | 教育長 小西 博泰<br>教育委員 藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹<br>事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長<br>松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長<br>福西スポーツ振興課長・教育総務課 小畠 |

### ■ [会議の内容]

#### 1 開会あいさつ

・教育長

#### 2 前回議事録確認

(全委員一致で承認)

#### 3 報告事項

・令和7年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

### ■ [学校教育課関連]

#### ① 「夢と希望の教育」の充実と深化【教育課程管理】

(進捗状況)

・全国学力・学習状況調査の分析報告について、保護者に公表の準備を指示している。

・「おの幼稚園」の園児募集状況は、現在、3歳児16名、4歳児11名、5歳児14名、合計41名で、昨年度より大きく増加した。増加の大きな要因は、3歳児の受入れ、預かり保育のリニューアル、毎日の給食提供、公式SNSでのPRであると考えている。随時募集は、11月末まで継続する。

・令和8年度の市教育支援委員会の答申を保護者に通知し、当該の保護者から同意をいただいている。

(今後の予定)

・11月5日に中学2年生向け川島隆太講演会・保護者向け講演会、11月6日に第22回川島隆太教授講演会を開催する。

・11月28日、幼保小の円滑な接続推進事業の研究大会をエクラで開催する。

## ②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

### (進捗状況)

- ・教職員における軽微な交通事故が増えているため、安全運転に心掛けるよう注意喚起している。
- ・精神的な不調による休職者が増えている。リスクマネジメントとして、担任に任せきりではなく、「チーム学校」として、全員で子どもたちを見ていく体制を整えることが重要であると、再度、周知している。

### (今後の予定)

- ・11月11日、校長会の研修会として、弁護士による法律に関する研修会を実施する予定である。

## ③人材育成と働き方改革【人的管理】

### (進捗状況)

- ・校長面談は、終了している。
- ・初任者や若手教員の困り感の把握とフォローについて、周知している。

## ④学校教育課情報

### 1 市の取組

- 10月28日 夢と希望の教育推進委員会（業務改善・家庭学習）
- 10月上旬 校長面談（方針管理・進捗状況）
- 10月中旬 全国学力・学習状況調査 分析結果公表リーフレット配付
- 11月 5日 川島隆太教授による中学2年生向け講演会  
　　榎先生による保護者向け 開催予定
- 11月 6日 第22回川島隆太教授講演会（体験型講演会⑮）

### ◆視察 ※「夢と希望の教育」の取組について

- 10月21日 新潟県十日町市議会
- 10月22日 奈良県桜井市議会
- 10月29日 神奈川県座間市議会
- 10月30日 埼玉県春日部市議会

### 2 学校の取組

#### ○小・中・特別支援学校 修学旅行

- 9月 2日（火）～ 4日（木） 河合中（東京方面）
- 9月 11日（木）～ 12日（金） 河合小（奈良・京都方面）
- 10月 6日（月）～ 7日（火） 小野小（奈良・京都方面）

|                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 10月 8日 (水) ~ 9日 (木)   | 来住小・市場小 (奈良・京都方面)   |
| 10月 14日 (火) ~ 15日 (水) | 大部小 (奈良・京都方面)       |
| 10月 15日 (水) ~ 16日 (木) | 小野東小・下東条小 (奈良・京都方面) |
| 10月 22日 (水) ~ 23日 (木) | 中番小 (奈良・京都方面)       |

#### ○小学校 自然学校

|                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 9月 1日 (月) ~ 9月 5日 (金)     | 市場小・中番小 (嬉野台)      |
| 9月 15日 (月) ~ 9月 19日 (金)   | 下東条小 (南但馬)         |
| 9月 29日 (月) ~ 10月 3日 (金)   | 小野小 (嬉野台) 来住小 (淡路) |
| 10月 6日 (月) ~ 10月 10日 (金)  | 大部小 (嬉野台)          |
| 10月 27日 (月) ~ 10月 31日 (金) | 小野東小・河合小 (南但馬)     |

### 3 学校の状況等

○10月 4号報告 2件

○10月の不登校の状況 ( ) 内は前年数値

小学校 13名 (16名)、中学校 54名 (63名) 合計 67名 (79名)

4号報告は2件挙がっているが、どちらも軽微な案件である。

不登校については、昨年度より少ない傾向であるが、再度、不登校対策委員会において、不登校の状況について詳細な見直しを実施した。その結果、不登校傾向及び恐れのある要注意児童生徒数は、小学校 64名 (59名)、中学校 39名 (39名) 合計 103名 (98名) となり、小学校で増加傾向にある。不登校対策委員会では、校内サポートルームと連携した効果的な取組について情報共有を進め、後手に回らない取組を進めるよう指示している。さらに、不登校支援員に任せきりになるのではなく、まずは、担任及び教員による丁寧な対応の必要性、そのフォローを教育サポートセンターや校内サポートルームが行うことを、再度、確認した。また、体調を崩して休むと不登校が長期化する傾向もあることから、家庭訪問等で家庭との連携を深めながら、子どもの情報を掴んでいくことが大事であると再確認している。

#### ■ 【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q : 先生のメンタルは、どのような状態になっているのか。(教育委員)

A : 誰しもメンタルが弱いところがあり、全面的に強くはなれない。しかし、前世代が乗り越えてきたような理不尽な経験をしていない世代が増えており、メンタルは弱くなっている。また、ベテラン層であるミドルリーダー的な先生が、俯瞰的(ふかんてき)を見て、若手教員にアドバイスすることが少なくなってきたおり、自分の持ち場以外を埋める同僚性も低くなっている。そういう点が、先生のメンタルの部分を弱くしている要因だと考えている。(事務局)

A：今の教員は、例えば、生徒の指導や言葉づかいに制限があることや、保護者が担任の指導方法まで言及すること等で、常に監視されているような大きな外圧を感じているように思える。そういう環境に適応できない教員も増えているのではないか。（事務局）

Q：ベテランや同僚の先生が、困っている先生のサポートに回らないのは、その先生に遠慮があるからなのか。それとも、困っているという状況に気がついていないからなのか。（教育委員）

A：どちらともいえない。将来への不安や閉塞感から、社会に余裕がなくなり、人間関係が希薄化してしまったことが1つの要因である。また、休むことに対する周囲の理解が進んだことも、こういった状況を加速させている。（事務局）

A：新任教員とベテラン教員が、同じ仕事をこなさなければならないという教育現場の仕組みにも問題がある。教育はサービスだと捉えている保護者もあり、例えば、教員1年目の担任と教員30年目の担任が同じサービス提供をしないと納得しないという方もいる。社会だけでなく、保護者にも余裕がないため、新任の担任に矛先を向ける方もいる。本来は、それをフォローするのがベテラン教員であるが、業務改善の一環として、自分の仕事ではないと判断している教員も見られる。新任教員をフォローし、その学年をチームで運営する、つまり組織で対応することによって、様々な問題も事前に解決でき、その結果、業務改善が図られる。しかしながら、目先の業務量だけで、業務改善だと判断する風潮が強い。文部科学省が教員の働き方改革の指針として、学校・教師が担う業務を3分類した内容を見ると、先生が今やっている仕事は、ほとんどやらなくてよいという風潮になる。そのため、新任や若手教員をフォローする先生が少なくなってきたのではないかと考えている。（事務局）

---

## ■ [教育総務課関連]

### ①おの幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・新幼稚園整備工事の進捗率は、73.45%で工程どおり進んでいる。  
工事内容：内装工事（天井、壁クロス）、外構工事（門扉・スロープ設置）
- ・10月16日、園歌の作詞を依頼している永田和宏氏に現地確認していただいた。私立の園に匹敵するような、非常に立派な幼稚園だと高評価を得ている。
- ・10月2日、永田和宏氏より紹介いただいた京都市立京都堀川音楽高等学校の音楽科専任教諭である平田あゆみ氏と面談を行い、園歌の作曲について、快く引受けさせていただいた。11月には、現地確認していただく予定である。

(今後の予定)

- ・令和8年2月上旬に竣工式、令和8年4月10日に開園式を開催する予定であ

る。開園式は、入園式・進級式を兼ねて行う予定で、新しい園歌のお披露目も行う予定にしている。

## ②学校施設長寿命化対策事業

### ●旭丘中学校

(進捗状況)

- ・体育館建替工事の進捗率は、8%で工程どおり進んでいる。

工事内容：解体工事、地盤改良工事

### ●河合中学校

(進捗状況)

- ・校舎長寿命化工事設計業務委託の進捗率は、45%で順調に進んでいる。

内容：9月5日、9日、16日 仮設校舎プラン検討

9月30日 校舎基本設計検討

(今後の予定)

- ・実施設計に向けて、学校と設計業者と3者打合せを行う予定である。
- ・11月から、仮設校舎の発注準備に取りかかる予定である。

## ③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・市場小エレベーター設置工事の進捗率は、75%で工程どおり進んでいる。

10月末には、工事が完了する予定である。

工事内容：エレベーター組立、内装工事、外構工事

- ・大部小エレベーター設置工事実施設計業務委託の進捗率は、30%で順調に進んでいる。

## ④学校体育館空調設備整備事業

(進捗状況)

- ・学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その1）の進捗率は、83.0%、学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その2）の進捗率は、49.4%で順調に進んでいる。

- ・小野中学校、河合中学校、小野南中学校の学校体育館空調整備工事は、進捗率100%で完了している。

(今後の予定)

- ・学校体育館空調整備工事

令和7年8月7日入札落札 令和7年8月12日～令和8年1月30日

小野特別支援学校 三輪設備 26,125,000円

令和7年8月19日入札落札 令和7年8月22日～令和8年2月27日  
小野小・大部小 株式会社竹内工業所 52,327,000円

令和7年8月29日入札落札 令和7年9月2日～令和8年2月6日  
河合小 小林設備工業有限会社 24,585,000円

令和7年9月4日入札落札 令和7年9月8日～令和8年3月8日  
来住小・市場小 三輪設備 39,820,000円

・小野東小、中番小、下東条小については、設計を進めており、工事発注は11月の予定である。

## ⑤教育総務課情報

### 1 学校施設工事等関係

#### ○空調更新工事・空調更新工事設計業務

- ・令和6年度：河合小学校、市場小学校 工事完了
- ・令和7年度：小野小学校、小野中学校 工事完了
- ・小野東小学校空調更新工事設計業務委託

6月9日入札落札 6,380,000円

宮永建築設計事務所 令和7年6月12日～令和8年3月19日  
→9月30日：概算費用

#### ○来住小・下東条小学校照明LED化工事設計業務委託

6月9日入札落札 5,720,000円

株式会社工藤建築環境設計室 令和7年7月2日～令和8年3月31日  
→9月30日：概算費用

### 2 その他

#### ○通学路合同点検の実施

日 時：11月4日（火）

対 象：中番小・下東条小学校区、旭丘中学校区

参加者：国土交通省兵庫国道事務所、兵庫県加東土木事務所、小野警察署、  
各学校、市道路河川課、市くらし安心グループ、教育総務課

#### ○監査委員による学校定期監査

日 時：11月20日（木）事務局監査

1月26日（水）監査委員監査  
対象：小野特別支援学校  
内容：学校予算執行状況、学校会計の管理状況、学校運営上の課題と対策等

### ■ 説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：通学路の合同点検は、実際に歩いて点検するのか。今回は「中番小・下東条小校区、旭丘中学校区」であるが、どのようなサイクルで回しているのか。（教育委員）

A：学校から挙がってきた通学路上で危険・要注意箇所等の中から、事前に点検する場所を決めており、その場所までは車で移動し、歩いてみることで危険箇所のチェックをしている。点検する校区については、中学校の校区に合わせて、4年に1回のサイクルで回している。（事務局）

Q：通学路の合同点検において、国道・県道・市道では、対策方法は違うのか。（教育委員）

A：それぞれの管理者が違うため、対策方法は違う。市道は市長、県道は県知事、国道は国土交通大臣、横断歩道や信号は県の公安委員会が管理者である。そのため、毎年、4者が協力して合同点検を行っている。学校からは、横断歩道や信号の設置要望等も挙がってくるが、公安委員会の管轄であり、設置条件やルールもあるため、実現しない場合もある。県道や国道において、整備するまでに時間がかかる場合は、注意喚起の看板の設置等で対策している箇所もある。市道におけるカラー舗装やガードパイプの設置等は、点検結果を踏まえて、毎年必要な箇所に実施している。（事務局）

Q：通学路の合同点検や調査で、通学路を変更することもあるのか。（教育委員）

A：地元の要望も踏まえて、校長と協議し、変更することもある。（事務局）

Q：監査委員による学校の定期監査は、事務局監査と監査委員監査があるが、どういったものなのか。（教育委員）

A：事務局監査は、市役所の監査事務局の職員が行う、予備監査である。監査委員監査は、市議会議員1名と税理士1名が行う、本監査である。監査では、通帳や会計書類等を見ながら、学校予算の執行状況や学校会計の管理状況を確認する。（事務局）

---

### ■ いきいき社会創造課関連】

#### ① 2026小野市成人式

開催日：令和8年1月12日（月・祝）

場所：うるおい交流館エクラ

（進捗状況）

- ・10月に第5回実行委員会を開催した。
- ・現在、案内状を作成しているところである。

(今後の予定)

- ・11月5日、第6回実行委員会開催する予定である。
- ・コットンバッグのデザインがほぼ完成し、発注する予定である。

## ②小野市民文化賞表彰

(進捗状況)

- ・9月24日、賞表彰選考委員就任依頼及び賞選考委員会の開催案内を発送している。

(今後の予定)

- ・10月28日、市民文化賞選考委員会を開催する予定である。

## ③いきいき社会創造課情報

○市民文化賞選考委員会

日 時：10月28日（火）13時30分～

推薦数：文化賞2件、文化奨励賞1件、文化優秀賞17件

○小野市美術展

期 間：11月13日（木）～16日（日）

場 所：うるおい交流館エクラ 市民交流ホール

出品数：絵画53件、書道19件、写真111件、彫塑・工芸19件

○市民芸能フェスティバル

日 時：11月16日（日）10時00分～

場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール

出 演：13団体

ゲスト：裏播州鬼ほおづき灯

○秋のいけばな展

期 間：11月15日（土）～16日（日）

場 所：うるおい交流館エクラ 大会議室

主 催：文化連盟いけばな協会

○図書館 図書館シスト

期 間：10月29日（水）～11月30日（日）

内 容：フランス発祥の宝さがしゲーム

書架に本の形をした宝箱を隠し、見つけた人は、中の宝物と自分が持つ  
てきた宝物を交換する

対 象：全利用者

○好古館 特別展リレー講演会

日 時：10月11日（土）13時30分～15時00分

場 所：コミセンおおべ

内 容：「江戸と明治の村とくらし」をテーマに大部地区の江戸時代と明治時代  
の村と暮らしの変化を紹介

④行事一覧 ※既に終了した事業を含む（別紙詳細）

○第21回小野陣屋まつり

日 時：11月9日（日）10時00分～16時00分

場 所：コミセンおの、好古館、小野商店街、愛宕神社境内

主 催：小野地区地域づくり協議会

○かわいフェスタ

期 間：11月8日（土）～9日（日）

場 所：コミセンかわい

主 催：河合地区地域づくり協議会

○きすみの祭

期 間：10月25日（土）～26日（日）

場 所：コミセンきすみの

主 催：来住地区地域づくり協議会

○いちばふれあいの祭典

期 間：10月25日（土）～26日（日）

場 所：コミセンいちば

主 催：市場地区地域づくり協議会

○大部地区ふれあいのつどい

期 間：11月1日（土）～2日（日）

場 所：コミセンおおべ

主 催：大部地区地域づくり協議会

○第47回文化祭

期 間：11月1日（土）～2日（日）  
場 所：コミセン下東条  
主 催：下東条地区地域づくり協議会

### ■ 説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：「図書館シスト」の自分の宝物は、何を持ってきててもよいのか。（教育委員）

A：食べ物や生き物、壊れやすいものや使いかけのもの等は入れないよう制限している。例えば、おりがみ、しおり、シール、きれいな石やボタン、ビーズ等で、本の形をした宝箱に入る大きさのもの（縦16cm×横21cm×高さ2cm以内）であればよい。（事務局）

Q：「小野陣屋まつり」の開催時期が、3月から11月に変更になったが、特に問題はなかったのか。今後は、11月開催で定着するのか。（教育委員）

A：特に問題はなかった。3月より11月の気候の方が良いため、参加しやすいと聞いている。開催後に協議し、11月開催で定着させるのかどうかを決定する予定である。（事務局）

---

### ■ 〔スポーツ振興課関連〕

#### ①学校保健体育事業の推進

（進捗状況）

- ・第11回おののっこ産クッキングコンテストの審査結果（別紙参照）

大賞：「キャベツィーヤ」（小野南中学校 松尾悠生さん）

テーマ：「キャベツ」を使った朝食レシピを作ろう

料理の楽しさや食の大切さ関心を深め、家庭での食育を推進する  
審 査：課題食材の割合、オリジナリティ、材料費、見栄え、調理時間等  
→大賞の「キャベツィーヤ」は、給食で提供される予定である。

- ・第23回井上記念小野市陸上競技大会兼小野市中学校新人陸上競技大会兼第52回小野市小学生陸上競技大会が、10月13日に開催された。大会結果では、入賞者に小野東小学校の児童が多かった。小野東小学校は、学校の規模も大きく、参加者が90名と多いため、夏休み明けから練習を開始する。そのため、他校より練習量が多いことから、入賞者が多いのではないかと分析している。

（今後の予定）

- ・12月、1回目の「なわとび検定」を実施する予定である。
- ・令和8年1月19日～23日、2回目の「ひまわりカード」による朝食摂取調査を実施する予定にしている。

## ②第12回小野ハーフマラソン2025

(エントリー状況) 9月19日現在

|              | 令和7年度  | 令和6年度  |
|--------------|--------|--------|
| ハーフ 男子       | 3, 484 | 3, 355 |
| ハーフ 女子       | 1, 089 | 965    |
| 5km 男子       | 411    | 395    |
| 5km 女子       | 375    | 400    |
| 1.5km 小学4~6年 | 218    | 203    |
| 1.5km 小学1~3年 | 230    | 233    |
| 合 計          | 5, 807 | 5, 551 |

※申込率96.8% (昨年度92.5%)。

→最終エントリー数: 5,817人 (大会史上、最多)

(今後の予定)

- ・11月中旬、各役割スタッフに向けた説明会及び打合せを実施する予定である。

## ③スポーツ振興課情報

### 1 学校保健体育

○第52回小野市小学生陸上競技大会（兼第23回井上記念小野市陸上競技大会）

日 時: 10月13日（月・祝）9時00分開会

場 所: 小野希望の丘陸上競技場

主 催: 小野市陸上競技協会、小野市小学校体育研究会

### 2 社会体育

○第47回小野市フットサル選手権大会

日 時: 10月26日（日）10時30分～

場 所: ゴールデンスターおの芝生グランド（JR市場前）

主 催: 小野市サッカー協会

○第15回小野市障がい者ONOリンピック

日 時: 11月1日（土）

場 所: 総合体育館アルゴ

主 催: 小野市障害者福祉協会（小野市スポーツ推進委員協力参加）

○第48回北播5市1町親善ソフトボール大会（喜多町・浄谷町出場）

日 時: 11月23日（日）9時00分～

場 所：アラジンスタジアム（加西球場）、加西市民グランド  
主 催：加西市軟式野球協会

○第53回北播地区市町対抗バレー大会（各市町選抜チーム出場）

日 時：11月30日（日）  
場 所：総合体育館アルゴ、匠台体育館アクト  
主 催：小野市バレーボール協会

### 3 今後の予定

○就学時健康診断（予定者333名）

日 程：10月28日（火）大部小、中番小、河合小、来住小学校区  
10月29日（水）小野小、市場小学校区  
10月30日（木）下東条小、小野東小学校区  
受付時間：1部 13時15分～13時45分  
2部 14時00分～14時30分  
場 所：伝統産業会館 大会議室

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：ハーフマラソンのエントリー数が、過去最多ということは、非常に嬉しい報告である。過去最多となった要因は何なのか。（教育委員）

A：主な要因として、次の4つの要因が考えられる。

- ①ランナーズの「全国ランニング大会100選」に2年連続で選出されたため、知名度が上がった
- ②阪神・オリックスの野球選手と一緒に走ることができる
- ③走るコースも良く、リピーターが多い（宿泊の際に、来年の予約をして帰宅される方が多い）
- ④完走証が、その場でもらえる

（事務局）

A：野球選手と走ることができるというのは、大きな魅力の1つである。それだけでなく、沿道の方々の声援や、ボランティアスタッフのおもてなししが非常によかつたという感想も聞いている。（教育長）

A：有力なマラソン大会の日程が変更になったことで、他の大会と重ならなくなったり点も、要因の1つである。（事務局）

Q：ハーフマラソンのスタート位置のグループ分けは、どのようにされているのか。（教育委員）

A：申告タイム順である。タイムが早い方から順に並んでいる。（事務局）

Q：小野市陸上競技大会の駐車場は、例年、駐車枠がなく、場所が決められていないうえに、頻繁に車の出入りもある。今年は、トラブル等はなかったか。（教育委員）

A：駐車場については、駐車枠がないが、状況を見ながら駐車していただいているため、大きな混雑はなかった。（事務局）

A：浄谷野球場周りの駐車場も使用したため、駐車場が不足することはなかった。（教育長）

---

#### 4 協議事項

○第Ⅳ期小野市「夢と希望の教育」振興基本計画の策定について（学校教育課）

※別紙詳細

●第1部 第Ⅲ期計画の成果と課題（2020～2025年）（◎成果、◆課題）

##### 1. 確かな学力を保障する取組の推進

◎「おの検定」による基礎学力の向上、小中一貫教育の充実による学びの連續性の確保、教科担任制の充実による専門性の高い教育の推進、脳科学の知見に基づいたICT教育の推進

◆児童生徒主体の「活用・探求型」授業の充実、家庭学習の質と量の充実

##### 2. 豊かな心を育む取組の推進

◎「脳を鍛え、心を育てる脳科学の知見」の啓発、兵庫型体験学習の充実、「いじめ問題」等、市民安全部・福祉部局と連携した組織対応、教育サポートセンターの設置による不登校対策の推進

◆デジタル社会の到来に対応する「自己管理能力」の向上、コミュニケーション力、がまんする力、レジリエンス力、自立した課題解決能力の育成

##### 3. 健やかな体力の育成を図る取組

◎「おの検定（体力）」や食育、生涯スポーツの推進

◆家庭・学校・地域・行政が一体となった健康な生活習慣づくりの推進

##### 4. あたたかな家庭づくりを推進する取組

◎脳科学に基づく子育てポイントを家庭に啓発、福祉部局との連携による就学前教育

◆保幼小連携教育による円滑な接続の推進、家庭教育の支援の充実

##### 5. 学校における安全安心教育の推進

◎県「学校安全総合支援事業」の推進による安心安全な学校づくりの推進、体育館の空調整備等、質の高い学習環境整備

◆学校運営協議会の活用や地域及び関係機関と連携・協力体制の確立

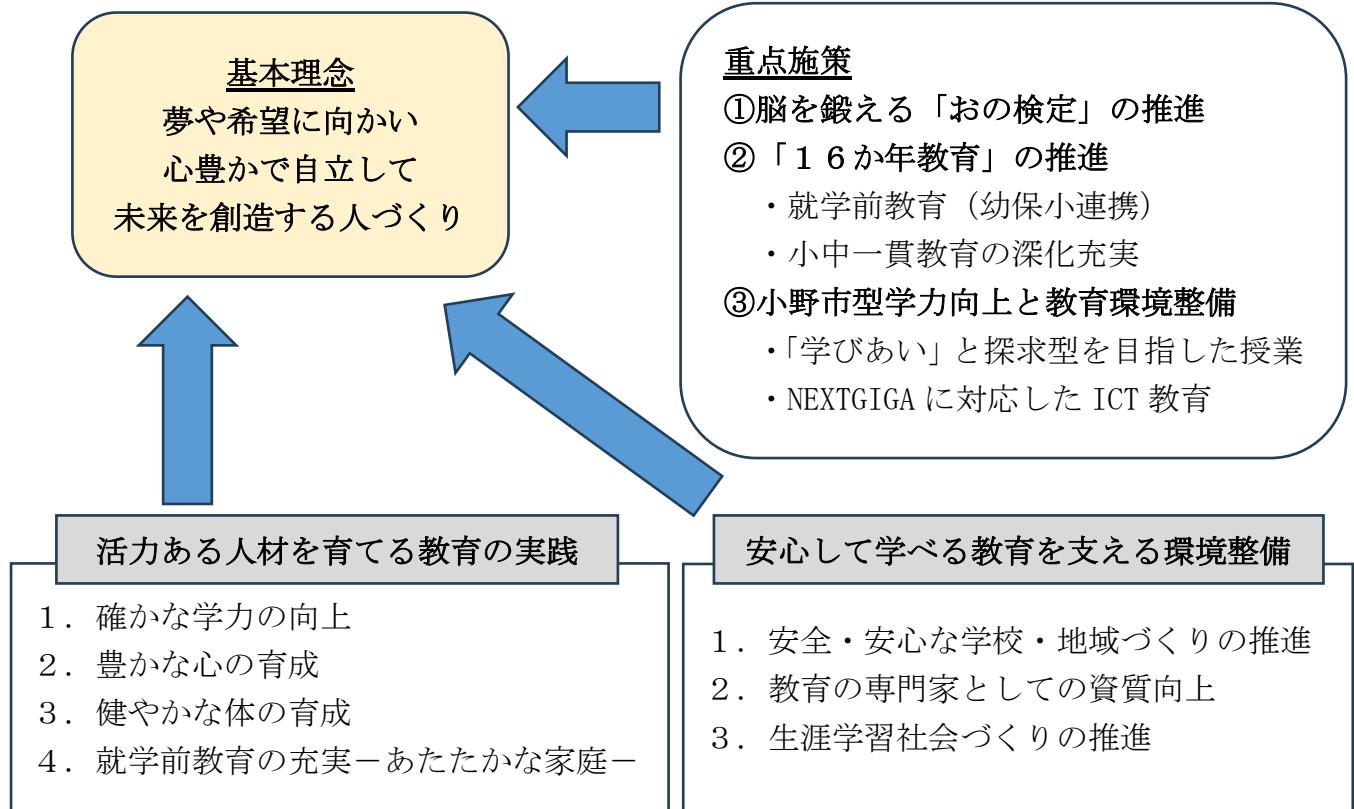
##### 6. 社会教育・生涯学習の推進

◎市民版「おの検定」の実施、社会教育施設における参加体験型プログラムによる学習活動、放課後寺子屋事業による支援

◆市民版「おの検定」、放課後寺子屋事業、コミセン講座等、市民参画型社会

## 教育のさらなる充実、多様な学習機会の提供

### ●第2部 子どもたちの「未来」を展望した小野市の教育（2026～2030年）



#### ■【教育委員からの照会及び意見】

Q：資料の赤字部分が、時代の流れとともに変更した箇所になっている。主な加筆箇所は、ICT教育が大きく進化していく部分、AIに関する部分、学力推進委員会で議論してきた小野市の子どもたちの課題を具体的に追記した部分である。何かお気づきの点等あれば、次回の定例教育委員会でご意見をいただきたい。（事務局）

A：承知した（教育委員）

※：ダイジェスト版については、第Ⅲ期の過去5年間は、何を実施してきたか、第Ⅳ期の5年間は、何をしていくのかということを、まとめたものである。詳細については、小野市「夢と希望の教育」振興計画（案）の冊子をご覧いただきたい。小野市の教育の基本理念である脳科学の知見を活かし、「おの検定」「16か年教育」「小中一貫教育」について、重点施策として進めていきたいと考えている。国が新学習指導要領で謳っている「表現力」「思考力」「判断力」の育成や「個別最適化学習」の必要性等も盛り込んで作成している。今後、夢と希望の教育推進委員会、校長会等で最終確認し、パブリックコメントを行い、策定する予定である。（教育長）

## ○学校現場における生成AIの利用について（学校教育課）※別紙詳細

### 小野市の授業づくりにおける課題

- ・学校間での差が激しい。（組織での取組・教師の力量）
- ・小規模校では、教師の力量が、学力に大きな影響を与える傾向にある。
- ・中学校では、授業改善、授業づくりの取組が急務。教科を超えた授業改善の取組が必要。（講義調授業はダメ）
- ・非認知能力と学力の関係（その気にさせる授業力、「わかる授業」の重要性）



- ・【若手・中堅】指導力（求心力）+レジリエンス（回復力）の低下
- ・【若手・ミドル】集団を見る力（集団掌握力）の低下
- ・【主幹教諭・ミドル・ベテラン】俯瞰的（ふかんてき）に見ることができる教員の減少

### ポストデジタル社会とは

- ・デジタル技術が「特別なもの」ではなく、「前提」となった社会
- ・A I・クラウド・I o T・X R（クロスリアリティ）などが、日常に浸透している状態を前提として、人間の創造性・倫理・感情が再評価されるフェーズのこと
- ・デジタルとアナログの融合

技術が当たり前になったうえで、『それをどう使いこなして人間の成長を促すか』



### 教育の焦点が「デジタル技術の活用」から「人間中心の学び」へ

- ◆デジタルリテラシーの育成は、ますます重要になる  
(情報を適切に収集、分析、評価、発信する能力)
- ◆A I社会に対応する資質として、批判的思考が重要  
(情報を鵜呑みにせず、フェイクかファクトを判断する力)
- ◆“情報活用能力の向上”はキーコンピテンシー（主要能力）
- ◆「人間らしさ」や「共感」、「創造性」を磨く“人づくり”が肝要  
(「人間の脳のもつすべらしさ」の再評価)



### 脳科学の知見をフルに活用した『小野市型児童生徒が主役の授業』の実施

(自分の考えを「書く」・「説明する」・「話し合い、学び合う」児童生徒主役の授業)

- ・授業力の向上
- ・学級経営力の向上
- ・協働的な授業、言語活動の充実、ふりかえりの重視

## ■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q：生成AIをうまく活用できる子どもと、生成AIに頼ってしまう子どもの間で格差が広がり、今まで以上の格差社会が生まれるのではないかと思う。（教育委員）

Q：生成AIとのやりとりの中で、生成AIの回答が自分の考えに合致している、または、全く理解できないと判断できるのは、使用者が今まで形成してきた経験値があるからである。経験値が少ない子どもたちの場合は、他の見方ができない。また、生成AIを活用しようとする先生の経験の度量も重要な部分であると思う。（教育委員）

A：そのとおり。子どもたちは、照らし合わせる経験値が少ないため、生成AIの回答を鵜呑みにしてしまう可能性が高い。生成AIは、「思考の壁打ちができるため、思考を深めることができる」といわれているが、逆に、誤情報の生成や思考能力の低下等、危険な状態に陥る可能性がある。そのため、児童生徒だけでなく、先生も生成AIの活用には慎重にならなければならない。（事務局）

---

## 5 その他

○令和7年度近畿市町村教育委員会研修大会（オンライン）

日時：10月29日（水）13時00分～15時20分

場所：小野市役所 4階会議室

内容：講演「子どもの人権と不登校」講師 奈良教育大学研究員 櫻井恵子氏  
事例発表 檜原市、広陵町

○令和7年度播磨東教育委員会連合会 合同研修会

日時：11月25日（火）13時30分～15時00分

場所：加古川市役所 北館4階

## 6 次回定例教育委員会予定

11月19日（水）13時30分～ 4階会議室4-1

12月16日（火）13時30分～ 4階会議室4-1

## 7 閉会あいさつ 教育長